

第169号
2025.5
(令和7年)

ひこね 市議会だより

力強く
前へ!



5月25日(日)
わたSHIGA輝く障スポリハーサル大会開催
(彦根市開催競技：陸上競技・ボウリング)

令和6年12月臨時会 (12月27日)
令和7年2月定例会 (2月21日～3月24日)

- 12月臨時会の結果 2
- 2月定例会で決まったこと 2～8
- 個人質問 9～19
- お知らせ 19～20

インターネット中継は [彦根市議会](#) で検索

12月臨時会・2月定例会の結果

12月臨時会の結果

原案のとおり可決

予算関係4件 条例関係2件

12月臨時会 議案の審議結果

会期：12月27日(金)

■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川睦子	角井英明	八橋龍二	堀口達也	北川元気	小川隆史	辻真理子	長崎任男	伊藤容子	黒澤茂樹	足田菜穂子	和田一繁	森田克充	戸崎吉則	小川安子	矢吹正敏	上杉正剛	中野和子	馬場利幸	林嘉己	奥野克彦	森野勝	安澤博雄	野村博雄
議案	94	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第8号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	95	令和6年度(2024年度)彦根市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	96	令和6年度(2024年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	97	令和6年度(2024年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	98	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2月定例会の結果

原案のとおり

可決・承認

否決

予算関係19件

その他の議案3件

意見書2件

条例関係21件

委員会議案1件

2月定例会 議案の審議結果

会期：2月21日(金)～3月24日(月)

■全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名
議案	1	専決処分につき承認を求めることについて(令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第9号))
	4	令和7年度(2025年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算
	5	令和7年度(2025年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算
	6	令和7年度(2025年度)彦根市介護保険事業特別会計予算
	7	令和7年度(2025年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算
	8	令和7年度(2025年度)彦根市病院事業会計予算
	9	令和7年度(2025年度)彦根市水道事業会計予算
	10	令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計予算
	11	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案
	12	彦根市下石寺町地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例案
	13	彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案
	14	彦根市駐車場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
	15	彦根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案
	16	彦根市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
	18	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案
	20	彦根市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例および彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	21	彦根市指定介護予防支援等の事業の人員および運営ならびに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例および彦根市地域包括支援センターの人員および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案



項目	番号	件 名
議 案	22	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
	23	彦根市企業立地促進条例の一部を改正する条例案
	24	彦根市水道事業布設工事監督者および水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例案
	25	彦根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案
	26	彦根市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案
	27	彦根市職員退隠料、遺族扶助料、退職給与金および死亡給与金支給条例等を廃止する条例案
	29	彦根市俳遊館の設置および管理に関する条例を廃止する条例案
	30	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて
	31	財産の取得につき議決を求めることについて
	32	第2期彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略を変更することにつき議決を求めることについて
	33	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第10号)
	34	令和6年度(2024年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
	35	令和6年度(2024年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第1号)
	36	令和6年度(2024年度)彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
	37	令和6年度(2024年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	38	令和6年度(2024年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
	39	令和6年度(2024年度)彦根市病院事業会計補正予算(第3号)
	40	令和6年度(2024年度)彦根市水道事業会計補正予算(第3号)
	41	令和6年度(2024年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第3号)
	42	彦根市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案
	43	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例および彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
委員会議案	1	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	1・2	和解および損害賠償の額の決定について
	3	損害賠償の額の決定について

議案等の詳細についてはこちら



▼ 議案一覧・議決結果



▼ 意見書・決議



■ 賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件 名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	足田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村
議 案	2	令和7年度(2025年度)彦根市一般会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	令和7年度(2025年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	彦根市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	退席	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	美しいひこね創造条例を廃止する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	1	「高額療養費制度」の負担上限額引き上げの全面的な撤回を求める意見書案	否決	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書案	否決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



このような討論がありました

討論の対象議案 議案第2号 令和7年度(2025年度)彦根市一般会計予算

議案第3号 令和7年度(2025年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算

反対

議案第2号については①国スポ・障スポ開催経費8億円の負担が大きく、市民サービスを削減することになるため。②国による情報システムの統一化事業経費は2倍以上に。今後も増大し地方自治の自立性も損なうことから統一化に慎重にあるべきため。③高齢者・障害者支援事業や公共施設運営事業費の削減により、市民サービスが低下するため。④経済効果が高いリフォーム事業助成の半減や農業支援の薄さなど、地域経済の活性化の支援や市民活動の保障も縮小しているため。上記4点のため反対。

議案第3号については県の国保統一化で標準保険料は引き上げとなる。財政状況が様々な自治体で保険料率の統一化は問題で、今後の増額は明らかなため反対。

討論の対象議案 議案第2号 令和7年度(2025年度)彦根市一般会計予算

賛成

令和7年度彦根市一般会計予算案は、厳しい財政状況の中で、市民生活の向上と持続可能な財政運営の両立を図るため、慎重かつ適切に編成されたものである。市税収入の増加やふるさと納税の強化により自主財源を確保しつつ、不要不急の事業を削減し、財政健全化に努めている。また、国スポ・障スポの開催準備、子育て支援の充実、彦根城の世界遺産登録推進など、市の発展につながる施策が盛り込まれているため賛成。

討論の対象議案 議案第17号 彦根市手数料条例の一部を改正する条例案

議案第28号 美しいひこね創造条例を廃止する条例案

反対

議案第17号については、①手数料500円の維持により検診率を高め、早期発見・治療を促進してきた取組は評価されるべきであり、変更すべきでない。②検診技術の進展は全ての人に公平に享受されるべきであり、手数料引き上げは健康格差を生む。③歯科健康診査の受診は医療費抑制につながるため、500円を維持し、市民の健康を守ることが自治体の責務である。上記3点のため反対。

また議案第28号については、地域通貨「彦」は利用者が減少し、市はデジタル化を一考したが、財政難で断念した。一方、政府が進める基幹業務システム標準化には、約13億円もの予算が計上されている。地域の活性化を促すデジタル化こそが求められているため反対。

討論の対象議案 意見書案第2号 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書案

反対

議員活動をサラリーマンと同じと考えると、事業主は市で市民負担となる。市の財政状況から市民の理解が得られるかが重要。厚生年金導入なら、国民の多くが加入している月々6～7万円の国民年金の抜本的改善も必要と考えるため反対。

討論の対象議案 意見書案第1号 「高額療養費制度」の負担上限額引き上げの全面的な撤回を求める意見書案

賛成

意見書案第1号について、①高額療養費制度は憲法25条の生存権を保障し、負担上限額引き上げは後退であるため。②少子化対策の財源確保を理由に引き上げが提案されているが、医療費全体に占める高額療養費の割合は小さく、少子化対策にはつながらないため。③厚生労働省の議論は患者の声を反映しておらず、当事者の実態を無視した引き上げ案は不適切であるため。上記3点のため賛成。

討論の対象議案 意見書案第1号 「高額療養費制度」の負担上限額引き上げの全面的な撤回を求める意見書案

意見書案第2号 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書案

反対

意見書案第1号については、高額療養費制度については、現在国で患者の声を聞きながら見直しが進められているため、現時点で本市議会から意見を提出することは不適切であるため反対。

意見書案第2号については、厳しい財政状況の中で、議員の年金をつくっていくことは市の財政に大きな影響を与えるため、現時点では実施すべきではないため反対。

当初予算の主な事業

「人権・多文化共生」、「健康・福祉・医療・生涯学習」の分野

予防接種事業

うち带状疱疹ワクチンの定期接種分

4億3,152万1千円

5,919万6千円

感染の恐れのある疾病の発生とまん延を防止するため、予防接種を実施するために必要な経費です。

新たに、主に65歳以上の方を対象として、带状疱疹のワクチンの定期接種を開始します。



(仮称)図書館中部館整備事業

7,402万円

旧ひこね燦ばれすを（仮称）図書館中部館として整備するため、令和6年度に引き続き、実施設計を行うために必要な経費です。

「子育て・次世代育成・教育」の分野

乳幼児健康診査事業

うち1か月児健診の拡充分

1,351万1千円

406万6千円

母子保健法に基づき、乳幼児の疾病を早期発見し、早期治療につなげるとともに、育児アドバイスをを行い、個々の乳幼児に応じた発育・発達を促すため、乳幼児健康診査を実施するための経費です。

新たに、1か月児の身体発育状況、栄養状況、身体の異常の早期発見および子どもの健康状態や育児の相談を目的とした1か月児健康診査を実施します。



小一すこやか支援員配置事業

761万9千円

小学校1年生の多人数学級において、学校生活にスムーズになじめるよう、きめ細かな指導をするため支援員を配置するための経費です。

令和7年度からは期間を1か月延長し、4月から10月まで配置することとします。

「歴史・伝統・文化」、「観光・スポーツ」、「産業」の分野

国スポ・障スポ大会開催経費

8億3,330万9千円

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催に向け、競技会開催に向けた諸準備を着実に進めるとともに、さらなる機運の醸成に努め、大会開催期間中に来場される方へのおもてなしを実施するための経費です。

併せて国スポの正式競技5競技、デモンストレーションスポーツ1競技の大会を開催するために必要な経費です。



「映画のまち・彦根」に係る事業

195万1千円

彦根市ロケーション誘致アンバサダーを設置し、積極的に映画やテレビ番組等のロケを誘致し、彦根の魅力について映像を通して全国に発信するための経費です。

令和7年度公開予定の映画とタイアップし、映画の公開に合わせて、関係者試写会や監督トークショー、パネル展を開催し、「映画のまち・彦根」をPRします。



▲市内での撮影風景

「環境形成」、「都市基盤」、「安全・安心」の分野

近江鉄道沿線地域公共交通再生事業

8,490万1千円

近江鉄道線の上下分離（公有民営）方式への転換に伴い、第三種鉄道事業者となった一般社団法人近江鉄道線管理機構に対し、安全輸送設備の維持修繕費用、同機構の運営費を負担するための経費です。

また、鉄道事業再構築実施計画の進捗管理や法定協議会の運営を行う近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会へ運営費を負担するための経費です。

警防活動業務管理事業

821万1千円

うち災害用ドローンの導入

244万7千円

消防隊、救助隊が迅速、的確に、さらには安全に現場活動を行うため、各種消防・救助資機材の更新・整備を行うために必要な経費です。

新たに、大規模災害時等の情報収集をより効果的に行うため、災害用ドローンを新規配備します。

予算常任委員会

令和7年度の当初予算案を可決

予算常任委員会は、3月7日(金)、10日(月)、12日(水)、18日(火)に委員会を開催し、19件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第1号、議案第2号、議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号、議案第37号、議案第38号、議案第39号、議案第40号、議案第41号

【主な質疑】

- 議案第2号に対して
 - Q 国スポ・障スポの観戦に入場券は必要なのか。
 - A 競技の観戦は無料で可能だが、開会式・閉会式には事前申し込みが必要。広報に掲載するなど丁寧な周知に努める。
 - Q ふるさと納税17億円を目標とすることへの意気込みは。
 - A 全国的にふるさと納税への関心が高まっている中でも、本市としての特徴を出しながら取り組みたい。
 - Q 母子手帳アプリの利用状況は。
 - A 令和7年3月6日現在で3,837人が登録。健康相談や健康教室の申し込みがアプリでできるようになり、利便性が向上。

【主な討論】

- 議案第2号に対して
 - 反対 国スポ・障スポ関連の予算が過大であり、市民生活に直結する事業が削減されている。また、ガバメントクラウド導入に伴うシステム運用費が大きな負担となること、高齢者・障害者支援事業の縮小による市民生活への影響、地元経済活性化のための助成事業が縮小されていることなどを理由に反対。
 - 賛成 市の財政が厳しい中でも教育・福祉・子育て支援の施策が確保されていること、彦根城の世界遺産登録推進や映画のまち推進、ひこにゃんの海外展開など、新たな収益基盤の確立を目指した施策が盛り込まれている。市民の安全・安心や健康福祉施策（無痛MRIの導入、乳がん検診拡充など）についても、一定の評価ができ賛成。
- 議案第3号に対して
 - 反対 県の国保統一化に伴い、今後も国保料の値上げが続く可能性があることを理由に反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

議案第17号、第22号はいずれも原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会は、3月13日(木)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第17号、議案第22号

【主な質疑】

- 議案第17号に対して
 - Q 検診にかかる費用が増加しているが、市民が自費で検診を受けると金額はいくらになるか。
 - A 令和6年度ベースでは、主な検診として子宮頸がん検診が6,600円、胃がん検診（バリウム）が9,900円、乳がん検診が1方向（50歳以上）6,010円、2方向（40～49歳）8,596円である。
 - Q 手数料引上げにより受診をされない市民が出てくる恐れがある。受診しないことによる健康格差が出ないようにする必要があるが見解は。
 - A 500円から1,000円に改正すると影響は出てくるかと思うが、現在も行っている大腸がん・乳がん検診等の無料クーポン券について継続して実施していきたい。
- 議案第22号に対して
 - Q 市立病院の訪問看護ステーションは令和5年5月から約2年間休止しているが、その理由は。
 - A 令和2年に新型コロナウイルス感染症の専門

病床を開設し、ステーション所属の看護師を病院勤務に変更し、規模を縮小したが、利用者の対応も他のステーションへ引き継ぐことができたため。

- Q 令和6年度末に訪問看護ステーションを廃止する理由は、近年湖東圏域内に民間の訪問看護ステーションが増加しているとのことだが、十分に需要が満たされているのか。
- A 現在32か所の訪問看護ステーションがあり、湖東圏域内で十分な新規に受入れが可能という状況である。

【主な討論】

- 議案第17号に対して
 - 反対 ①500円での検診で早期発見・早期治療により医療費を抑制できる。②検診技術の進展は全員が享受すべきであり、費用引き上げは格差を生む。③歯科健診は医療費削減につながり、市民の健康維持に不可欠である。以上3点から反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決



市民産業建設常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、3月14日(金)に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第12号、議案第14号、議案第18号、議案第23号、議案第29号、議案第30号、議案第31号

【主な質疑】

- 議案第12号に対して
 - Q 条例制定により白地であれば自由に家を建てられるのか。
 - A 地区計画で緩和しており、誰でも自己住宅を建てるのが可能。
- 議案第14号に対して
 - Q 彦根市営中央駐車場の一時利用を廃止して、定期利用のみとする理由は。
 - A 定期駐車のみにより、管理人の駐在時間が減らせ、より効率的な管理、運用ができるため。
- 議案第18号に対して
 - Q 新たな申請により職員の手間が増加すると想定されるが人員は現状のままか。
 - A 直接職員の人員的な問題になることはない。

○議案第23号に対して

- Q 「運輸業・郵便業」業種を削除した理由は。また、市内外で助成金の差をつけた理由と目的は。
- A 経済波及効果の高い業種へ支援する観点から除外した。また事業者の増加による地域経済の活性化と雇用創出を目的として、企業誘致の競争力を維持し、市外からの企業立地を促進するため差をつけた。

○議案第29号に対して

- Q 俳遊館の建築年数は。また条例廃止後は処分されるのか。
- A 大正12年に建築され現在102年経過している。老朽化が激しく、改修費用、さらに耐震補強も必要であり高額な投資と隣接地に危険がおよんでいる現状から解体の方向で検討している。

○議案第31号に対して

- Q 1号炉、2号炉の火格子は大丈夫なのか。
- A 定期的に状態を確認しながら進めていく。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案等議案7件を可決

企画総務消防常任委員会は、3月17日(月)、18日(火)に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第13号、議案第15号、議案第16号、議案第27号、議案第28号、議案第32号、議案第42号

【主な質疑】

- 議案第13号に対して
 - Q 令和7年からこども家庭センターが新設される等の理由から子ども未来部がこども家庭部へ名称変更になるとのことだが、国では2年前にこども家庭庁が発足している。連動したと思うがこのタイミングでの変更の意味は。
 - A 子ども家庭センターは現在国では努力義務とされている。本市ではこれまで検討してきたが県内でもセンターが増えてきているためこのタイミングで今回設置となる。
 - Q 名称変更に係る経費はどれくらいか。
 - A 表示物、封筒や周知に係る一部費用は必要だが大きく費用がかかるとは考えていない。

○議案第28号に対して

- Q 条例廃止により支出はどれだけ抑えられるのか。
- A 約560万円
- Q 幾ばくかのお金を投資しながら市民活動を支援することは考えられないか。
- A 市民活動団体からの声はお聞きしたい。経済的支援については財政的に可能か不透明であるが、支援できるように考えたい。

○議案第42号に対して

- Q 住居手当支給の基準は。
- A 借家に居住する際、家賃の金額に応じて手当を支給するもの。
- Q 支給期間の上限、あるいは対象年齢はあるのか。
- A 年齢は関係ない。職員である限り支給される。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市政について
質す!

2月定例会個人質問

20人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、
事前申し込みによる
手話通訳を
実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について



▲彦根市議会
インターネット
映像配信はこちら

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

彦根市YouTubeチャンネルでも本会議映像をご視聴いただけます。



▲彦根市YouTube
チャンネルは
こちら

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



角井 英明議員



地球沸騰化の下での農業支援とは



猛暑対策や先進的な事例を提供し
経営の安定につなげる



その他の質問

- ・教師がイキイキと働ける学校現場
- ・生徒会長公約実現事業
- ・幼稚園・保育園の整備計画

Q 今年の大豆の不作の現状は。

A 葉が落ちず、刈り取れない「青立ち」やさやの中に実が入っていないものがあつた。認定農業者57経営体のうち、収穫なしが8経営体、半分以上が36経営体だった。

Q 原因をどう考えているか。

A 8月以降も長期的な高温が続いたこと、雨量が少なかったことによる干ばつ傾向が続いたことが主な原因と考える。

Q どのような対策を行なったのか。

A 専門の講師を招き、大豆の生産等に関する研修会を実施した。なお、水稻からの転作については国の交付金があり、収穫なしのほ場へも作付けされた面積分が支払われる。

Q 地球沸騰化の下での農業支援とは。

A 猛暑対策や先進的な事例を学ぶ場を提供し、安定した生産や経営の安定化につなげていきたい。



▲刈取りができなかった稲枝地域の大豆畑



中野 正剛議員

Q

図書館保有の磁気テープや映画フィルムを今後、どう扱うのか



A

郷土に関する貴重な資料はデジタル化を考えている

その他の質問

- ・ 5歳児健診について
- ・ ノーコードツール(※)を活用してはどうか

Q 磁気テープや映画フィルムは今後も保有し続けることはできるのか。

A 現状のまま保有し続けることはできるが、経年劣化により再生ができなくなる可能性がある。

Q どうしても保管しておかなければならない資料はどれくらいあるのか。

A 井伊直弼公の生涯を描いた小説「花の生涯」を映画化した16ミリフィルムや本市の古い街並み、彦根城が撮影されたものなど、郷土に関する資料31本を保管する必要がある。

Q 今後、磁気テープや映画フィルムをどう取り扱っていくのか。

A 郷土に関する貴重な資料については今後も保存し続けたいが、経年劣化が懸念されることからデジタル化を考えている。しかし、著作権の問題やそれにかかる費用の確保などがあるので、こうした課題解決に向け模索していきたい。

※ノーコードツールとは、プログラミングの知識や技術がなくても、利用者がマウス操作等により、アプリケーション等を開発できるツールのことです。



▲彦根市立図書館が保有する視聴覚資料



和田 一繁議員

Q

歩行者利便増進道路制度とは



A

道路占用許可の基準が緩和され、多様な道路空間の活用が可能

その他の質問

- ・ 国スポ会場周辺のにぎわいの創出について
- ・ インバウンド戦略について
- ・ 令和8年放送の大河ドラマ「豊臣兄弟！」について

Q 歩行者利便増進道路制度とは。

A にぎわいのある道路空間創出のために「歩行者の利便増進を図る空間」として道路管理者が区域を定めることで、道路占用許可の基準が緩和され、テラス席の設置やイベントなど、多様な道路空間の活用が可能となる制度。

Q 彦根駅西口から平和堂H A T Oスタジアムまでの歩道にはこの制度の活用は可能か。

A 指定要件の一つに、「歩行者の安全かつ円滑な通行を確保するための十分な有効幅員を確保できること」とあり、歩行者空間の幅員を2m以上確保する必要がある。彦根駅西口から平和堂H A T Oスタジアムまでについては最大約2.5mの「歩行者の利便増進を図る空間」を設けることができる状況であり、活用方法が限定的になる懸念点はあるが、制度としては活用できる。



▲歩行者利便増進道路（ほこみち）のイメージイラスト
出典：国土交通省ウェブサイト



小川 吉則議員

Q 「滋賀県車いす使用者等用駐車場利用証制度」の対象者は

A 歩行が困難で移動に配慮が必要な人々が対象者となる



その他の質問

- ・こども誰でも通園制度について
- ・市立病院のレスパイト入院(※)について

Q「滋賀県車いす使用者等用駐車場利用証制度」の対象者は、どのような方となるか。

A 対象者は、歩行が困難で移動に配慮が必要な人として、障害者手帳の交付を受ける障害のある人、難病患者、要介護高齢者、産後2年または3年の方を含む妊産婦等、けが人などとされている。

Q 障害者等用駐車区画の不適切な利用を防ぐためには、どのような対応となるか。

A 駐車区画の不適切と思われる利用があった場合は、施設管理者が不適切利用をしている人へ正しい駐車区画の利用を促したり、注意喚起チラシを車両ワイパーに挟んで、正しい理解を求めたりする。

Q 金亀公園駐車場の有料化に伴い、障害者等の方々の利用時に料金の減免等の考えは。

A 障害者等の方々の駐車場利用時は、駐車場使用料を全額免除する予定。

※レスパイト入院とは、在宅介護を担う家族や介護者の休養を目的とした短期入院のことです。



▲彦根市役所の「障害者等用駐車区画」



馬場 和子議員

Q #7119の導入を本年10月に控え、彦根市としての準備状況は

A 令和7年度当初予算に計上しており、使い方等についての広報に努める



その他の質問

- ・現清掃センターの延命措置と新施設整備スケジュールとの関係性は
- ・和田市政1期目の総括と具体的な施策の方向性は

Q「119番です。火事ですか？消防ですか？」と緊急通報に応答し適切に救急車や消防車の出動を指令する仕組みで、通報者の声を聴き、声で命を救う仕組みで救命の始まる最初の現場であるエマージェンシーコール。彦根消防では本署1階の通信指令課がその役割を担っているが、滋賀県が事業主体であり費用は人口割で市町と折半、通話料は利用者負担となる#7119が本格導入されるにあたり、彦根市での体制等の準備状況は。

A 令和7年10月からの運用に向け、当初予算にて費用を計上している。

市民に#7119がどのようなもので、どんな時に、どう使うのかを知っていただくために、ホームページやSNS等での恒常的な広報と運用直前には広報ひこねなども活用して広報に努めていく。



▲彦根市消防本署1階の通信指令室の状況



堀口 達也議員

Q ふるさと納税の実績と目標は

**A 約15億2千万円を突破！
令和7年度目標は17億円**



その他の質問

- ・映画のまち・彦根について、映画やロケ誘致の実績は
- ・生徒会長公約実現事業の目的や期待する効果は

Q ふるさと納税の実績と今後の目標は。

A 令和6年度のふるさと納税寄附額は、令和7年2月24日時点で約15億2千万円。人気返礼品は、電気シェーバーや電動歯ブラシ（約7億円・全体の45%）、ビールなどの酒類（約4億4千万円・29%）、近江牛などの精肉（約1億5千万円・10%）。令和7年度の目標は17億円で、新たな返礼品の開発やPR強化を推進する。

Q 四番町スクエアの黒字化の要因は。

A 令和4年度以降黒字に転じ、令和5年度の売上高は3億円を突破。令和6年度は12月末時点で去年同期比1.2倍の約2億6千万円を計上し、過去最高売上が見込まれる。黒字化の要因は、ひこにゃんショップのグッズ売上と、ふるさと納税返礼品のビールなどの好調な売上によるもの。



▲彦根のふるさと納税の人気返礼品（イメージ）



長崎 任男議員

Q 彦根市図書館中央館建設は彦根市清崎町地先で間違いないか

A 亀山学区の清崎町地先に整備することに変更はない



その他の質問

- ・彦根市SNSによる情報発信について
- ・公式SNSの収益は
- ・ふるさと納税との関係性は
- ・シティマラソンに影響しているのでは

Q 令和7年の当初予算を拝見すると、市税総額は前年度より増加であるが、多くの事業が見直しや廃止になっており厳しい財政であることがわかる。将来的な話になるが、彦根市図書館中央館の計画はどうなっているのか。

A 令和5年3月に改訂した「彦根市図書館整備基本計画」に示しているとおり、計画に変更はない。

Q 財政状況が改善したら中央館建設に着手するのか。

A 財政状況が好転し財源の確保ができるまで延伸するが、早急に着手できるように努めることに変更はない。

Q 中央館建設は彦根市清崎町地先で間違いないか。

A 彦根市図書館整備基本計画では中央館の整備場所について、市において決定された亀山学区の清崎町地先に整備することと示しており、変更はない。



▲中央館建設を待ち望む清崎町地先



辻 真理子議員

Q

令和7年度一般会計当初予算案における市税の増減は

A

個人市民税・法人市民税・固定資産税等は増収の見込み



Q 市税収入のうち個人市民税増収見込額と内訳は。

A 全国的に給与所得が上昇傾向にあることから、所得割について約2億円の増収を見込み、前年度当初予算と比較して、2億329万7千円、率にして3.4%の上昇を見込んでいる。

Q 法人市民税額の大幅増収（32.9%）の理由は。

A 令和6年度に大幅増収となった主要法人において、短期的に見て大幅な減収リスクが低いことなどから、前年度当初予算と比較して5億237万6千円の増収を見込んでいる。

Q 固定資産税の増収額の理由は。

A 土地は地価の下落を反映し0.2%の減収、家屋は新築分を上乗せして7.5%の増収、償却資産は大規模な工場建設等により4.3%の増を見込み、全体として4.7%、3億5,760万1千円の増収を見込んでいる。



▲市役所本庁舎



正田 菜穂子議員

Q

彦根市における狂犬病対策の現状は

A

獣医師会等の関係機関と連携し狂犬病予防注射の啓発を行っている



その他の質問

- ・本市における子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種状況および公費負担による接種期間の延長について

Q 狂犬病予防注射の接種率と接種しない場合の弊害は。

A 令和5年度の彦根市の接種率は約60%であり、県内では約66%である。狂犬病予防注射は法で義務付けられており、罰則がある。狂犬病予防注射の接種が証明できない場合、犬を連れて行けない施設などもある。

Q 狂犬病予防注射の接種率向上の取組は。

A 市内の獣医師にご協力いただき、毎年4月から5月の間に集合注射を実施しており、飼い主にはハガキを送付して案内している。
また、彦根市と近隣4町のほか滋賀県獣医師会等で構成する愛知犬上彦根狂犬病予防推進協議会では、狂犬病予防注射の啓発物品を作成し、配布している。今後も関係機関と連携し、啓発等を行っていきたいと考えている。

▲狂犬病予防注射啓発スローガン



黒澤 茂樹議員

Q 国スポ・障スポ開催後の取組、レガシーづくりは

A スポーツの振興や地域経済活性化に寄与する取組を進める



その他の質問

- ・中学校における部活動（運動部・文化部）の現状について
- ・健康寿命を延ばすため個人が取り組むべきことについて

Q 国スポ・障スポ開催後の取組、レガシーづくりは。

A 国スポ・障スポ開催にあたり、平和堂H A T OスタジアムやプロシードアリーナH I K O N E等の施設整備を行うとともに、陸上競技、ハンドボール、弓道、なぎなた等の各競技団体とも数年にわたり準備を進めてきた。こうした施設整備や取組を一過性のものにならないためにはレガシーが必要であると考えている。

具体的には、国スポ・障スポの開催状況も踏まえ、何をレガシーとするかは考える必要があるが、本市開催競技だけにこだわらず、市が進めているJリーグ誘致も含め、ハード面のレガシーである平和堂H A T OスタジアムやプロシードアリーナH I K O N Eを有効活用し、スポーツの振興や地域経済の活性化に寄与するものに力を入れていく。



▲アリーナ正面大階段



安澤 勝議員

Q 外来植物メリケントキンソウ撲滅対策と今後の見通しは

A 3月下旬までにグラウンド全体へ高濃度尿素液を散布し防除を行う



その他の質問

- ・学園の児童生徒数を増やすために新たな特色を創出すべきと考えるが見解は
- ・学校外機関つまり民間施設への公的支援が必要では

Q 鳥居本中学校グラウンドの外来植物メリケントキンソウの現状は。

A 令和6年5月に繁茂していることを確認した。芝刈機では対処できず、個体数も多いことから手作業での除草も困難。

Q 撲滅対策と今後の見通しは。

A メリケントキンソウを枯らし芝への肥料効果も期待できる高濃度尿素液を散布する。昨年11月に試験散布を行い一定の効果があつたので、3月下旬までにグラウンド全体へ散布し防除を行う。

Q 芝生グラウンドのメンテナンスは必要では。

A 芝を枯らすことなく一定のメンテナンスを行っていると考え。専門業者への委託は困難だが、砂塵の抑制や怪我の防止といった芝生化の効果を享受できるよう、適切な維持管理に努めていく。

Q 鳥居本学園の児童生徒数の推移予測は。

A 令和12年度には小学生47人、中学生36人。計83人と予測している。学区外は含まれていない。



▲外来植物が繁茂する鳥居本中学校の芝生グラウンド



野村 博雄議員

Q 俳句文化の護持・発展へ一層の取組が必要では

A 様々な事業実施やサークル・施設の紹介、インターネットの活用等も検討する



その他の質問

- ・下水道管の維持管理は
- ・雪対策は
- ・歯科保健への取組は
- ・ＪＲのみどりの窓口廃止等への対応は
- ・市役所の電話の録音について

Q 本市に縁の深い俳句文化の護持・発展へ、取組の推進は図れているか。

A 俳句を含めた文芸活動の振興のため、夏休み文芸ワークショップや市民文芸作品事業を実施している。また施設と調整できれば一時的な俳句等の文芸コーナー等の設置もできる可能性もある。

Q 俳句文化の拠点の確保や情報発信等一層の取組が必要では。

A 俳句を学びたい方があれば公民館のサークル等を紹介したり、発表会を実施したいという団体からの要望等があれば施設を紹介する等の取組を進める。また現状特定の施設の確保には至っていないが、本市の電子申請サービスを活用したインターネット上での投句や句会、インターネット等を活用した幅広い情報発信等も検討していく。



▲夏休み文芸ワークショップでの吟行の様子



中川 睦子議員

Q 路線バス運賃は4月から値上げの予定だが、理由と経緯は

A 今後も安全・安心な路線バス運行を維持継続していくための運賃改定



その他の質問

- ・子どもセンターの運営について
- ・3施設一括の事業運営について
- ・愛のりタクシーと免許返納者支援について

Q 4月から値上げの予定だが、理由と経緯は。

A コロナ禍と諸物価の高騰で運行している事業者の収入減少により収支が悪化。また、乗務員不足等の問題も顕在化。今後も安全・安心な路線バス運行を維持継続していくための運賃改定。

Q 利用者への聞き取りアンケートに時間をとったのか。

A 令和6年11月25日から約1か月間意見公募をした。

Q 値上げによる市民のメリット・デメリットは。

A メリットはバス運行の課題の解決の一助になり、デメリットは利用者負担増となる。

Q バスが停めやすく、高齢者や車椅子の方も安心して乗降しやすい整備が必要では。

A 全ての利用者が乗降しやすく、バスの安全を確保するための対応を行っている。

Q バス停に屋根や腰掛、荷物置きが必要では。

A 設置の余地がない場所も多く、予算の状況から新設できていないが、整備の可能性について検討を進める。



▲くすのき通りの停留所



奥野 嘉己議員

Q 市街化調整区域での新住民による住宅建設は

A 市条例の11号範囲を他市並みの広さに変更はしない



その他の質問

- ・吉田学園の状況について

Q 都市計画法第34条第11号とは。

A 市街化区域に隣接または近接する既存集落で、50以上の建築物が連たんする地域において、条例に規定する区域内であれば、だれでも自己用住宅が建てられる規定。

Q 近隣市や県が規定する条例での11号範囲は市街化区域から1kmであるが、これと比べると当市条例の規定500mは厳しく人口減少の一因とも思える。人口減少を防ぎ、公平な都市間競争の観点で、当市条例を改定し、500mから1kmへ拡大できないか。

A 市街化区域も大きく、コンパクトシティ推進の観点から他市並みへの変更はしない。

Q 稲枝駅西側地区の市街化区域編入による11号区域見直しは。

A 県による編入決定後、11号区域の見直しを行ったうえで関係自治会に周知する。



伊藤 容子議員

Q 最もコストの安い事業を目指したこの2年の取組への市の総括は

A 組合への交付金拡充のため環境省への要望活動を連携し進める



その他の質問

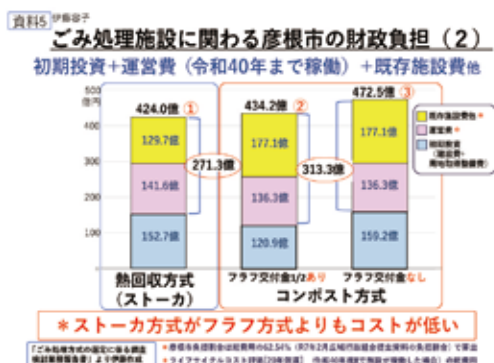
- ・平田川を渡る避難路について

Q 新ごみ処理施設整備について、最もコストの安い事業を目指す2年間の取組の総括は。

A 施設の建設費以外に周辺道路整備費用も必要で、財政的に実現困難な焼却方式に代わる手法として、広域行政組合（以下「組合」）で好気性発酵乾燥方式（以下「フラフ」）を検討され、事業費が負担可能な金額の可能性などから方針を決定。組合への交付金拡充に向け、環境省への要望活動を連携し進める。

Q 焼却方式の初期投資が不可能というが、フラフとの違いは31億円。2回の調査の間での焼却方式の値上がりは24億円。初期投資額との差の75%は、報告書作成の間の値上がりが占める。調査を重ね事業が遅れることで更に費用が発生する現状は本末転倒では。

A 組合議会でフラフ方式を採用方針と決定され、実証実験も可決された。交付金拡充の要望活動について組合と連携を図っていく。



▲「ごみ処理施設に関わる彦根市の財政負担ライフサイクルコスト表」（令和40年まで稼働）



八橋 龍二議員

Q 障害者用駐車場の不正利用についての罰則制度の可能性については

A 罰則制度は慎重に検討すべきで現時点では罰則の導入は考えていない



その他の質問

- ・平和堂HATOスタジアムの外壁修繕の進捗状況について
- ・障スポ観戦の意義と今後の可能性について

Q 他国の罰則制度を参考にした対策の可能性についての検討は。

A 罰則などの不利益処分を導入することは、インクルーシブな社会の実現に向けて進んでいる中において障害のある人や配慮を要する人と、そうでない人との間に不必要な溝を生じさせかねないとも考えられる。そのため罰則制度は慎重に検討すべきことであり、本市においても現時点では罰則の導入は考えていない。

Q 障害者用駐車場について今後の市の方針は。

A 新たな制度の導入は考えていないが、市民への周知・啓発活動は引き続き行う。今後も、市民の皆様が障害のある人や高齢者、妊婦等に対する理解を深め、誰もがお互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現に向けた地域づくりを関係団体等と連携して進めていく。



▲車いす優先区画と思いやり区画



矢吹 安子議員

Q 「おくやみガイドブック」の利用状況と「おくやみコーナー」設置についての見解は

A 県内13市中7市が設置、できるだけ早い時期に速やかに取り組む



その他の質問

- ・彦根市の防災対策と防犯対策について
- ・能登地方への災害支援について
- ・休日急病診療の今後の展望は

Q 令和3年度に配布が始まった「おくやみガイドブック」の利用状況は。

A 本市に住民登録のある方がお亡くなりになった際に、必要となる手続きや情報を提供する冊子。

令和6年度は1,500冊作成し、本年2月時点で1,200冊配布した。

Q 「おくやみコーナー」については、予約の時間だけスペースを開けるやり方があるが、いまだ設置に至らない理由は。

A 「おくやみコーナー」の設置の必要性は十分認識しているが、スペースの確保等の課題がある。多くの自治体で予約制とされているので、同じように予約制の対応ができないか他市の事例で研究する。まずは人員を確保し、課題を解消できるよう進めていく。県内13市のうち、すでに7市が設置されている現状から、できるだけ早い時期に速やかに取り組んでいく。



▲守山市のおくやみコーナー



北川 元気議員

Q 無痛MRI乳がん検診の目的と意義、期待する効果は

A 痛みのない乳がん検診で受診者数増加と早期発見を目指す

Q 無痛MRI乳がん検診の目的と意義、期待する効果は。

A 乳がん検診の受診者数増加と早期発見を促すため、新たに無痛MRI検診を導入する。従来のマンモグラフィーと異なり、乳房を圧迫せず、放射線被ばくの心配もない。特に「痛みが怖い」「見られるのが抵抗がある」といった理由で受診を避けていた市民にとって有効な選択肢となる。受診者数の増加と、乳がんの早期発見・治療につながることを期待している。今後、広報やホームページ等を活用し、多くの市民に認知されるよう努める。



その他の質問

- ・ふるさと納税の寄附額が市財政に与えた影響は
- ・市職員の働き方改革（パワハラ等対策）の効果は
- ・和田市政1期4年の総括は



▲無痛MRI乳がん検診機器



戸崎 克司議員

Q 彦根お城トンネル開通後、原町交差点の交通渋滞の影響は

A 原町交差点周辺の交通事情の変化について注視している

Q 外町交差点の右折矢印信号、赤信号の点灯時間の変化に関する見解は。

A 県道25号や国道306号を含め、警察においては状況を観察しており、慢性的な交通渋滞が発生する場合は、信号サイクルの見直しを検討すると聞いている。

Q 彦根お城トンネル側のイオンタウン彦根出入口、東側の市道の交通安全対策は。

A 原松原線の供用に伴い交通量に変化が生じることにより、新たに児童・生徒の危険となる場合は、その安全対策について地域からご要望をいただければ、合同点検により対策を検討していく。

Q 旧原町交差点跡地の土地活用として、モニュメント・観光案内板を設置しては。

A 本市の観光振興に寄与する場所と認識しており、本市のブランディングにつながる有効な土地活用について検討していく。



その他の質問

- ・国スポ障スポ開催準備として、彦根市への再来・リピートにつなげる計画は
- ・国スポ障スポ開催時の出店ブースの計画は



▲彦根お城トンネル開通後の「原町・彦根インター側」、「古沢町・国道8号側」それぞれの車の誘導



森田 充議員



電子申請システムの処理件数は



令和6年度見込み17,511件



その他の質問

- ・令和7年度一般会計当初予算（案）に対しての市長方針は
- ・花火フェス開催事業の事業内容は

Q 電子申請システムの内訳は。

A 令和6年度の主な電子申請の内訳件数上位3項目については、「観光客アンケート」が1,814件、「彦根市放課後児童クラブ入会申込」が1,692件、「ひこにゃんファンクラブ 会員申請」が1,466件と見込んでいる。

Q 内訳上位3項目をみると若年層の利用者が多いのでは。

A 若年層の利用者が多いと推測される。

Q さらに電子申請システムの処理件数を伸ばしていく方策は。

A 本市においては、令和6年度に株式会社平和堂様との共同事業で高齢者等スマートフォンの扱いに不慣れな方を対象としたスマホ教室を開催している。デジタル格差を解消し、電子申請を利用しやすい環境を整備するとともに、周知を行っていくことで電子申請システムの処理件数を伸ばしていきたいと考えている。



▲令和6年度開催 彦根市・平和堂共同事業『スマホ教室』

議会運営委員会による先進地視察報告

1 1/27(月) 静岡県藤枝市 決算常任委員会による事業評価、常任委員会（市長提言）に係る議会運営について

藤枝市の決算常任委員会では、市の事業を体系的に把握し、事業評価を通じて適正な予算執行を確認しています。具体的には、全事業を「市民にとってどうか」の視点で総点検し、評価対象を選定しています。これまでは数値評価を用いていましたが、現在は委員の個別意見を反映した区分表評価に移行し、評価結果は市長に提言書として提出されます。このプロセスにより、市全体の施策の連携や効率的な審査が可能となり、議会のチェック機能の強化が期待されています。

しかし、評価と予算編成の間に時間的なズレが生じる点や、評価対象の抽出方法に課題があることも指摘されていました。この取組は健全で、市民の信頼を得る要因であり、本市でも導入を検討すべきだと感じました。



2 1/28(火) 神奈川県秦野市 議会ICT化推進について（議会運営におけるペーパーレス会議システムとタブレット端末活用等）



秦野市では、議会ICT化推進の一環として、平成28年6月からタブレット端末を導入し、議会でのペーパーレス化を進めました。議員定数削減により導入費用を確保し、資料の同期機能等が評価されたmoreNOTEというシステムを活用されています。

タブレット端末を使い、資料をPDF化してスクリーンに投影することで、議論が活発化し、傍聴者からも好評を得ています。課題としては、操作に不慣れな議員へのサポートや議会事務局の業務量増加が挙げられます。

当市議会としても、秦野市議会の事例を参考に今後は、効率化や情報発信力向上のため、議員と事務局とが協力してタブレット端末運用のあり方等の検討が必要だと感じました。

議員研修会を実施しました



議員人権研修会

○令和7年1月20日(月) 午後2時30分～午後3時45分

彦根市議会では、市民の代表としてより研ぎ澄まされた人権感覚を養うため、年に1回議員人権研修を実施しています。

今回は、「ジェンダー平等をつくる 表象とジェンダー」と題して、滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科教授 亀井若菜さんにご講演いただきました。



市議会議員研修会

○令和7年1月31日(金) 午前10時～午前11時30分

日本防災士機構認定防災士 笠原 恒夫さんを講師にお招きし、「大規模災害時において議員が求められる行動・心構えとは」をテーマに研修を行いました。

講演では、実際に発生した災害事例にもふれながら、災害時に議員としてできること・日常においてできることを学びました。



広聴委員会より彦根市議会アンケートご協力のお願い

広聴委員会では、市民の皆さまの身近な声を議会に反映したいとの思いから議会に関するアンケートを実施することとなりました。

右記QRコードよりご回答いただけますので、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



次の定例会は
6月です

ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
6月 9日 (月)	開 会	
6月16日 (月)	個人質問	9 : 30
6月17日 (火)		
6月18日 (水)		
6月20日 (金)	予 算 常 任 委 員 会	
6月23日 (月)	市民産業建設常任委員会	
6月24日 (火)	企画総務消防常任委員会	
6月25日 (水)	福祉病院教育常任委員会	
6月30日 (月)	閉 会	